

SOPHIA FUKUOKA

Junior and Senior High School

上智福岡中学高等学校

2022

学校法人 上智学院
上智福岡中学高等学校
学校案内



上智福岡中学高等学校

<http://www.sophia-fukuoka.ed.jp>



Men and Women for Others, with Others

SOPHIA

心をつなぐ人になる。

「より大いなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。

FUKUOKA



Contents

校長メッセージ	02	英語コミュニケーション教育	12
本校について		グローバルリーダー育成プログラム	13
沿革／校訓／校歌／校章	03	上智大学との教育提携プログラム	14
卒業時の生徒の姿	04	海外研修	16
イエズス会とその教育精神	05	国内研修・ボランティア	18
上智福岡の目指す六年一貫教育	06	留学生受け入れ・国際交流	19
21世紀型新カリキュラム		コンテスト	19
大学受験を見据えた学力づくり	08	上智福岡の心	20
問題発見・解決型授業		上智福岡の一日	20
「Studies For Others (SFO)」	09	年間行事	22
上智福岡の理系教育	10	クラブ活動	24



施設紹介	
キャンバスマップ	26
進路指導	28
入学について	
入試情報	30
校納金	30
制服紹介	31
よくあるご質問	32
在籍生徒住所分布	33
交通案内	33



上智福岡は、キリスト教カトリックの修道会であるイエズス会が経営母体となっている学校です。日本におけるイエズス会学校の歴史は、1549年にまで遡ります。この年、一人のイエズス会士が日本を訪れます。彼の名は、フランシスコ・ザビエル。ザビエルは日本人の向学心あふれる姿にふれ、キリスト教の普及と共に、日本の都に学校を建てることを夢見ます。しかし、当時は戦乱の世でもあり、夢かなうことなく失意のうちにザビエルは日本を去ってしまいます。それから、長い禁教、鎖国時代を経て、ザビエルが描いた種がようやく芽を出すのは1913年のことです。この年にザビエルの意志を受け継いだ3人のイエズス会士が日本の都、東京に大学を創るべく派遣されます。それが上智大学であり、日本におけるイエズス会教育の始まりでした。

私たち上智福岡は、勉強する意義を Men and Women for Others, with Others. (他者のために 他者とともに)に見いだしています。自分が最も大切にしたいと思う身近にいる人びとも含め、より多くの人びとを幸せにするために勉強するのです。そして、来るべきグローバル時代に生きる生徒たちのために、単に知識を蓄積するだけではなく、思考力・判断力・表現力など、さまざまな場面に適応できる力を身につけさせるべく、上智福岡独自のグローバル教育プログラムを開発していきます。

心をつなぐ人になる。

上智福岡は、人と人、国と国、そして、世界の架け橋となるリーダーの育成を目指しています。



学校法人上智学院
上智福岡中学高等学校
校長 大石 英雄
Hideo Oishi

沿革

1932年(昭和7年4月)	福岡カトリック神学校として開校
1932年(昭和7年10月)	福岡市薬院御所谷に移転、カトリック学院と改称
1933年(昭和8年6月)	福岡市平尾杉谷に移転
1936年(昭和11年3月)	泰星中学校と改称
1946年(昭和21年4月)	カトリックマリア会に経営移管
1948年(昭和23年4月)	新制泰星高等学校開校
1951年(昭和26年3月)	学校法人泰星学園設立
1969年(昭和44年4月)	カトリック福岡司教区に経営移管
1974年(昭和49年2月)	福岡市中央区輝園に第1期建設工事竣工
1983年(昭和58年4月)	イエズス会に経営移管、校地拡張
1984年(昭和59年4月)	6ヶ年1期生中学入学
1990年(平成2年3月)	6ヶ年1期生高校卒業
1992年(平成4年4月)	創立60周年を迎える
2010年(平成22年4月)	上智大学と教育提携開始
2011年(平成23年4月)	上智福岡中学高等学校に校名変更、上智福岡1期生入学
2012年(平成24年4月)	男女共学開始
2016年(平成28年4月)	学校法人「上智学院」、「栄光学園」、「六甲学院」、「広島学院」と法人合併し、法人名を「学校法人 上智学院」と改称

Magis —さらによりよく—

校訓
Men and Women for Others, with Others —他者に奉仕する—
Excellence —卓越性を求める—



はばたけ ソフィアの鷲よ

作詞・作曲 新井満

- 青空にはばたけ ソフィアの鷲よ
虹の橋 こえて まなざし高く
この惑星の限りない平和のために
今こそ使命 はたすとき
Men and Women for Others, with Others
上智福岡 上智福岡
われらが母校
- 明日へとはばたけ ソフィアの鷲よ
闇の空 こえて 勇気もやして
この惑星の美しいいのちのために
今こそ愛を歌うとき
Men and Women for Others, with Others
上智福岡 上智福岡
われらが母校

校章



本校の校章は、「盾」に描かれた「鷲」、英語名である SOPHIA FUKUOKA の文字が染め抜かれたフラッグから成り立っています。

「盾」は知性と思慮深さを表す紺青(こんじょう)色と秘めた情熱を表す臘脂(えんじ)色で彩られ、その2色でキリストの愛の象徴である十字架を浮かび上がらせています。さまざまに悪に立ち向かい、多くの人を守りながら導いていく「盾」は、まさに Men and Women for Others, with Others を象徴しているものといつてよいでしょう。

「鷲」は上智大学のシンボルマークであり、「ソフィアの鷲」と呼ばれています。真理の光をめざして力強くはばたく姿をかたどったもので、中央にしたされた文字は、「真理の光(Lux Veritatis)」の頭文字です。ソフィア(SOPHIA)とはギリシャ語で「人を望ましい人間へと高める最上の観智」を意味します。

この「盾」と「鷲」を組み合わせることで、Men and Women for Others, with Others の精神に、最上の観智を追い求める本校の教育精神を示したものとなっています。



「より大きいなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。

上智福岡は、授業の主体的・対話的で深い学びと学校生活でのあらゆる教育活動を通して
次のような人を育てます。



1 キリスト教ヒューマニズムを身につけている

『隣人愛』学校生活を共にする人びとを大切にでき、敬意や感謝を示し、他者を思いやり^{**}すことができるようになります。

『真理の探究』けじめのある学校生活の中で、基本的な生活習慣と学習習慣を身につけ、すべての科目に興味と関心を持って、
より真なるもの、善なるもの、美なるもの、そして聖なるものを探究します。

『人格の陶冶』真・善・美を知る喜び、聖なるものへの畏敬の念を感じる感性を身につけ、それらが自分を自由にし、与えられた
特性や才能を、他者や社会の必要とされるところですんで役立てることができる人になります。

- ① キリスト教ヒューマニズムに触れ、理解している
- ② 他者や社会に奉仕する中で自己の人格を陶冶することを目指す
- ③ 真理を研究し、真の自由を得るために、自らを高めることができる

2 他者に仕えるリーダーシップを持っている

『奉仕』異なる性格、考え方、感性、能力を持つ仲間と協力し、居心地のよい学校環境をつくり、人の喜ぶ姿を見て、真の幸せを感じる人になります。

『使命感』自分が家庭、学校や社会の中で育まれていることを知り、よい共同体を作るために責任を持って自分の役割を果たせるようになります。

『リーダーシップ』学習活動、部や委員会活動、諸行事、奉仕活動に積極的にかかわるなかで、リーダーに必要な論理的思考力、
コミュニケーション能力、行動力などを身につけ、やがては、責任ある立場に立って地球社会に貢献できるようになります。

- ④ 他者のために仕える精神をもっている
- ⑤ 社会から受ける恩恵を自覚し、それに伴う責任感を持っている
- ⑥ リーダーシップに必要な基礎能力を持っている

3 グローバル・コンピテンシーを持っている

『地球規模の問題への関心』世界の自然、地理、歴史を学び、地球規模で起きている諸問題へ目を向け、これらの問題を理解し、
合理的解決への取り組みができるために、自然科学の知識と、思考手段として数学を習得します。

『コミュニケーション能力』さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止める心構えと、外国語、特に英語で他者
とのコミュニケーションを取ることができる力を身につけます。

『異文化受容』諸文化の価値を認めながら、すべての人々が平和で幸せに暮らせる世界を築くために、対立や分裂を乗り越えて
人と協働できる力を身につけます。

- ⑦ 世界の自然、地理、歴史を学び地球規模の問題への関心を抱いている
- ⑧ 外国語でコミュニケーションを取ることができる
- ⑨ さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止め、それらの懸け橋となれる

イエズス会とその教育精神

カトリックイエズス会(ラテン語名:Societas Iesu、英語名:The Society of Jesus、総本部:ローマ)は、日本に初めてキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエル(1506-1552)や、イグナチオ・デ・ロヨラ(1491-1556)ら7人の同志によって設立された、カトリックの男子修道会です。

1908年、日本に大学を設立するために3人のイエズス会士が来日し、1913年、専門学校令による上智大学が開校しました。その後、1948年に新制大学として発足し、現在に至るまで、上智大学は、カトリック・キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育の中心であります。イエズス会は、教育目標として、「Men and Women for Others, with Others」を掲げています。「自分の才能や能力を自分の満足や利益のためだけではなく、他者のために役立てる人」ということを意味します。この指針は上智大学をはじめ、鎌倉の栄光学園、神戸の六甲学院、広島の広島学院といった本校の姉妹校すべてにおいても継承されている教育精神です。



「聖フランシスコ・ザビエル像」(レプリカ)
上智大学所蔵

学校法人上智学院が設置する学校

高等教育機関

- ① 上智大学
(東京都千代田区)
- ② 上智大学短期大学部
(神奈川県秦野市)
- ③ 上智社会福祉専門学校
(東京都千代田区)

中等教育機関

- ④ 栄光学園中学高等学校
(神奈川県鎌倉市)
- ⑤ 六甲学院中学校・高等学校
(兵庫県神戸市)
- ⑥ 広島学院中学校高等学校
(広島県広島市)
- ⑦ 上智福岡中学高等学校
(福岡県福岡市)





上智福岡の目指す六年一貫教育

基本的な学習習慣を確立し、基礎学力の定着を図る

課題に取り組んでいく中で、授業と家庭学習という基本的な学習習慣を身につけ、その成果を小テストなどで確認していきます。学習習慣が身についていない生徒に関しては、昼休みや放課後を利用して指導を行っていきます。

広く深く学力の充実を図り、 将来の進路を考える

中学から高校の課程に移る段階で、学びのレベルが上がります。高校レベルの勉強にスムーズに移行できるよう、基礎をしっかりと固めると共に、高2での文系・理系コースの選択を取り組みを行っていきます。

受験への意識を高め、目標達成に向けて学力を磨く

高2の早い時期に、生徒との面談を通して自分の目標とする大学・学部・学科を明確にし、受験への意識を高めていきます。高3では、生徒の志望に沿って、文系・理系コースを国公立・私立コースに細分化し志望大学合格に向けた徹底的な指導を行っていきます。

中1

中2

中3

高1

高2

高3

中学校学習内容

基礎力充実

基礎力完成

大学受験演習

通常クラス(4クラス)

- 中3で高校学習内容一部スタート

文系コースI
文系コースII
理系コースI
理系コースII

私立文系コース
国公立文系コース
難関国公立理系コース
国公立・私立理系コース

オリエンテーション合宿

サマー・キャンプ P 22

放課後指導(中学生)

学習の遅れが気になる生徒について、英数国を中心に行なう、昼休みや放課後を利用して指導を行っていきます。

武道大会 P 23

上智大学
サマー・ティーチング・プログラム
P 15

オーストラリア語学研修 P 16

修学旅行 P 22 進路講演会 合格者報告会

カンボジアスタディツアーパート P 17

アジア太平洋イエズス会姉妹校
リーダーシップフォーラム P 16

放課後指導

計算コンクール P 11

ボランティア活動等 P 18

放課後特別講座(高校生)

高1・高2はハイレベル講座として、
高3では大学別、受験タイプ別に
細分化された個別講座として、
20近くの講座が開講されます。

校内英語暗唱・スピーチコンテスト P 19

問題発見・解決型授業「Studies For Others(他者のための学び)」 P 09

上智大学 出張授業 P 14

全員参加

希望者参加



1. 大学受験を見据えた学力づくり

各教科を授業内容により各科目に細分化し、十分な授業時間を確保しながら、生徒に内容をしっかりと理解させる取り組みを行っています。また、生徒1人1台のICT端末を導入することで、よりアクティブな授業展開、より深い個別学習や共同学習が可能となりました。

中学授業プログラム(2021年度実践予定)

教科	科目	学年	時間数	授業内容
英語	英語	中1 ～中3	4	英語の基礎・基本を学び、読む力・聞く力を伸ばす授業
	E語	2	2	外国人教員とのチーム・ティーチングで書く力・話す力を伸ばす授業
	多読	中2・3	1	興味関心のある英語の本を読み進める授業
数学	数学α	中1 ～中3	3～4	代数分野を中心とした授業
	数学β	2～3	2～3	幾何分野を中心とした授業。中2では週3時間をかけて行う
国語	国語A	中1 ～中3	3	現代文の文章解釈を中心とした授業
	国語B	2	2	文法(口語・文語)を中心とした授業
	国語C	中3	1	漢文を中心とした授業
理科	理科I	中1・2	2	中学理科(物理・化学・生物・地学)を中心とした授業・実験
	理科II	2	2	
	理科I	中3	2	中学理科まとめを中心とした授業・実験
	生物基礎	2	2	生物基礎(高校の内容)を中心とした授業・実験
社会	地理	中1・2	2	人々の多様な暮らし方や社会条件を学ぶことで、他者への寛容な視点を養う
	歴史	2	2	過去の社会や人々を学ぶことで、現代社会についての多角的な視点をも養う
	公民	中3	4	現代社会のしくみや課題を学ぶことで、社会における自己の活かし方を考える

2. 問題発見・解決型授業「Studies For Others(SFO)」

「Studies For Others」(他者のための学び)は、「平和構築・貧困の解決」を基調とした問題発見・解決型「総合的な学習・探究の時間」です。6学年それぞれ成長段階に応じたテーマが設定され、学校で学ぶ知識や体験を活用して「平和構築」「貧困の解決」の妨げに気づき、その克服に関わる志と資質を育てます。主な内容は以下のとおりです。

2020年度実践例(高2は2019年度実践例)

中1課題研究テーマ	中2課題研究テーマ	中3課題研究テーマ
「探求の共同体」の形成	伝わる言葉を考える	環境問題やエネルギー問題の解決策について考える
入学当初から仲間づくりのアイスブレイクやクラスの共同作業を通して、理想のクラス像を協力して作り上げていきます。特に文化祭の発表準備や貿易ゲーム、哲学対話などのプログラムを実施しています。	より良いコミュニケーションを実現するための言葉の使い方を学びます。根拠に基づく自分の意見の述べ方・筋道を立て分かりやすく説明する方法・読む人の想像力を利用して面白い文章を書く方法について、それぞれの活動を通して理解し、体感していきます。思うように伝わらないもどかしさや、理解を得られた喜びを感じながら、相手に伝わりやすい言葉の使い方を学習していきます。	現在、私達の身の回りで起こっている「環境問題」や「エネルギー問題」に対して興味・関心を持つこと、さらにそれに対する解決策やアイデアを模索することを目的としています。ポスターなどの作成を通して、よりよい地球環境を目指す態度を育みます。
高1課題研究テーマ	高2課題研究テーマ	高3課題研究テーマ
自分の生き方を考える	模擬国際会議「児童労働」 How can we solve the problem of child labour?	"My Mission" 2030年までの軌跡 平和構築・貧困の解決にむけて
人間の発達段階を知り、自分が位置している青年期について理解を深め、心身の変化に興味を持ち、様々な問題解決をすると共に、自分の生き方を考えることを目標とします。その中で人生における一つの指針としてキリスト教的な考え方を学び、それらをいかに生かせるかを考えます。	日本とは無縁に思える国際問題をサブライチーンの視点から捉え直し、我々の生活環境といかに密接に結び付いているかを認識したうえで協議に入ります。生徒たちは、それぞれ担当する国の大天使や国際NGOの代表として他の国との合意を形成し、妥協点を模索しながら交渉や協働する力を養います。	国連が定めるSDGs(持続可能な開発のための2030アジェンダ)のなかに自分の使命とする課題を見つけ、2030年までどのように解決に取り組みこの世界に貢献していくのかを探究し、My Missionとして発表します。

※高1のSFOは宗教と協働した授業を行っています。

(2020年2月22日公開授業実施、8県より23名の教員が視察に来校)

Rubric Evaluation

『自分の姿』ループリックで
一人ひとりの人間力を「見える化」します。

ループリックとは私たちの教育目標である「卒業時の生徒の姿」への到達度を示す言動の評価指標です。本校が開発した「自分の姿」ループリックにより、定期考査による知識技能の評価だけでなく、見えにくいとされる「思考力・判断力・表現力」「隣人愛・リーダーシップ」などの人間力の評価を可能にしました。



本校ではこのループリック評価を年2回実施し、授業、課外活動、諸行事を通して生徒一人ひとりが、「卒業時の生徒の姿」へと成長しているのかを検証いたします。また、その結果をもとに絶えず教育活動の向上を図ります。右のグラフは、2019年度卒業した生徒の3年間の成長の軌跡です。年ごとに人間力をつけていることが見て取れます。

(2020年度はコロナ禍により諸活動が制限され、ループリック評価未実施)

2019年度卒業生「自分の姿」ループリックスコア伸長度



上智福岡の理系教育

体系数学で数学を体系的に学ぶ

本校では、中学1年生、中学2年生で、数学の教材として、中高一貫校用のテキスト「体系数学」を使用しています。

体系数学を使用するメリット

○数学を体系的に学ぶことができる

例えば、「等しい」関係を表す「方程式」は中学1年生で学びますが、「大きい」「小さい」といった関係を表す「不等式」を学ぶのは検定教科書では高校1年生です。本来「等しい」「大きい」「小さい」はごく自然につながって理解される内容であり、体系数学では「不等式」を中学1年生で学びます。

○分野ごとにテキストが分かれている

体系数学はテキストが「代数編」と「幾何編」に分かれています。数学において、計算力はもちろん大切ですが、学年が上がるにつれて、幾何の分野の重要性が増してきます。実は、体系数学では「幾何編」がとても充実しているため、中学生の段階から幾何をしっかり学ぶ上では最適のテキストです。



理科実験を通して理科への興味・関心を育む

○物理・化学・生物の3つの実験室を備え、各実験室や観察を通して、理科に対する興味・関心を刺激し、**実感の伴った理解を促しています。**

○中学・高校の6年間を通して、物理・化学・生物・地学の**4分野をバランスよく学びながら、**さまざまな自然現象に対する科学的な考え方(思考力)を育みます。

中学では各分野の基礎的な内容を学び、高校では中学で学んだ基礎をいかして、より発展的な内容に取り組みます。

○物理部や生物・化学部などのクラブ活動では、中学生と高校生が一緒に活動し、**研究の基礎となる考察力を身につけることができます。**

○物理・化学・生物・地学すべての科目の**専門教員が専門性を生かして教えています。**

○難関大学や医学部にも対応できるように高3で**演習を積むことが可能です。**



計算コンクールで計算力を鍛える

本校では、中学1年～高校1年生を対象として、既習分野の計算のスピードと正確さを競う「計算コンクール」を実施しています。

60～100問の問題にチャレンジする中で、**計算力はもちろんのこと、集中力や忍耐力も同時に養われます。**中1と中2、中2と中3、中3と高1、と2学年合同で競い合い、成績優秀者には賞状も授与されるため、生徒の取り組むモチベーションがさらに高まります。



基礎となる英語力が理系学部への高い合格率を支える

医歯薬系をはじめとする理系学部合格に必要なものは、もちろん数学と理科の力ですが、その基礎となるのは英語力です。本校の充実した英語教育力と培われてきた理系指導のノウハウが理系学部への高い合格率を支えています。

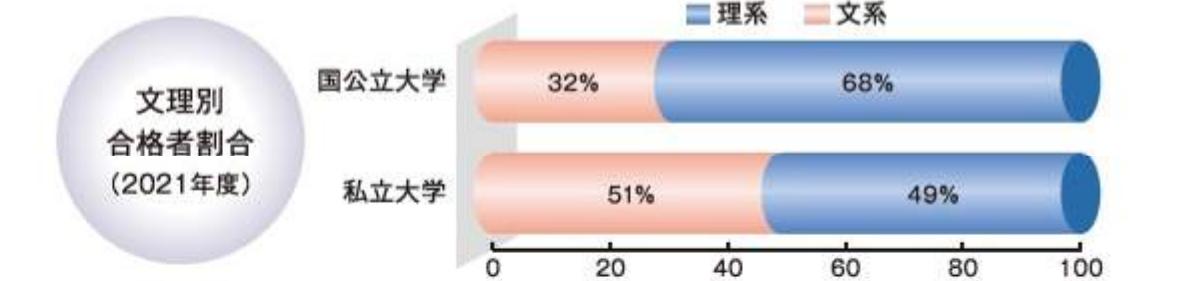
医・歯・薬・獣医学部への合格実績 (2019～2021年度)

- | | | | |
|---------------|--------|-------------------|---------|
| ○旭川医科大学医学部医学科 | …………1名 | ○久留米大学医学部医学科 | …………6名 |
| ○佐賀大学医学部医学科 | …………1名 | ○福岡大学医学部医学科 | …………4名 |
| ○長崎大学医学部医学科 | …………1名 | ○九州歯科大学歯学部歯学科 | …………1名 |
| ○熊本大学医学部医学科 | …………2名 | ○東京歯科大学歯学部歯学科 | …………1名 |
| ○島根大学医学部医学科 | …………1名 | ○日本歯科大学歯学部歯学科 | …………1名 |
| ○岩手医科大学医学部医学科 | …………1名 | ○大阪歯科大学歯学部歯学科 | …………1名 |
| ○金沢医科大学医学部医学科 | …………2名 | ○東京理科大学薬学部生命創薬科学科 | 2名 |
| ○東京医科大学医学部医学科 | …………1名 | ○立命館大学創薬科学科 | …………2名 |
| ○順天堂大学医学部医学科 | …………1名 | ○福岡大学薬学部薬学科 | …………13名 |
| ○藤田医科大学医学部医学科 | …………1名 | ○鹿児島大学共同獣医学部獣医学科 | 2名 |
| ○関西医科大学医学部医学科 | …………2名 | ○北里大学獣医学部獣医学科 | …………1名 |
| ○兵庫医科大学医学部医学科 | …………4名 | ○麻布大学獣医学部獣医学科 | …………1名 |
| ○産業医科大学医学部医学科 | …………2名 | ○岡山理科大学獣医学部獣医学科 | …………1名 |

他多数

医学部医学科 30名

歯・薬・獣医学部 59名



国際社会に通じる実践的な 英語コミュニケーション能力を身につけます。

1. 「世界への架け橋となるリーダー」にふさわしい語学力を

上智福岡中学高等学校が目標とする「世界への架け橋となるリーダー」に必要な英語コミュニケーション能力として、次の力が高校卒業時に身につくことを目指します。

- Point | 1 社会性の高い内容の文章を理解し、また書くことができる。
- Point | 2 伝えたい内容を論理的に話し、質問に的確に対応できる。
- Point | 3 情報や体験をまとめ、プレゼンテーションができる。
- Point | 4 対立する論点についてディベートができる。



2. 豊富な授業数と充実したコミュニケーション活動を通して

Point | 1 英語の授業は週6~7時間

週6~7時間の授業は英語でのコミュニケーションの場です。授業は英語で行うことを中心とし、日本語は必要最小限にとどめ、生徒が英語に触れる機会を充実させます。

Point | 2 実践的な運用能力

授業でのペアワーク、グループワーク、レシテーション、プレゼンテーション、ディベートなどさまざまなアクティビティを通して、英語を英語で理解し、表現できる実践的な運用能力を養います。



Point | 3 「聞く、話す、読む、書く」4つの技能

これらのアクティビティに加え、ネイティブスピーカーによる小規模クラスでの授業や、言語運用の力を伸ばす「Callシステム」を用いた授業により、習った内容を実際に自分の言葉で表現する能力を育成します。これにより、訳説や和文英訳、文法指導にとどまらず、「聞く、話す、読む、書く」4つの技能をバランスよく伸ばします。

Point | 4 CLIL による授業

CLIL(内容言語統合型学習)は、ヨーロッパにおける中心的な言語習得のアクティブ・ラーニングのひとつです。その教授法や教材研究開発を、上智大学言語教育研究センター長藤田保教授、逸見シャンタール准教授の指導のもとおこなっています。CLILによる授業では、4技能でグループワークを多用しながら異文化理解、国際問題などに関するメディア上の生情報を探求し、分析し、自分なりの見解を持たせます。このようにして地球規模の課題に対する思考力、判断力を養い、英語力を伸ばします。

Point | 5 海外語学研修

上智福岡中学高等学校では、「世界の中の日本」という視点をもって世界で活躍する人に必要な英語力の基礎を学びます。そして実際に、英語が分かる、英語を使うことができる力を体感するために、海外語学研修を準備しています。海外語学研修は、中学3年間で身につけた英語の4技能の成果を実際に試す場であり、コミュニケーションができる喜びと難しさを知ることで、さらにステップアップした高校英語への懸け橋となるものです。

Point | 6 外部英語試験の定期的な受験

授業で培った英語力を図るために、定期的に英検、GTEC、TEAPを受験しています。英検については高3までに2級以上を約60%、中3までに準2以上を約50%の生徒が取得しています。



グローバルリーダーに必要な資質を育てる生徒の主体的体験・内省・実践の機会を豊富に擁しております。これらの体験は、教室での学びの質を高めるばかりではなく、人生の目標を見つけ、意欲的に学習に取り組むきっかけにもなります。

① 上智大学との 教育提携プログラム

- 上智大学出張授業
- 上智大学サマー・ティーチング・プログラム
- 英語カリキュラム共同開発
- 授業力向上研修

② 海外研修

- オーストラリア海外語学研修(中3)
- アジア太平洋イエスス会
姉妹校リーダーシップフォーラム
- カンボジア スタディツアーア

③ 国内研修・ボランティア

- 大名町教会炊き出しボランティア
- 釜ヶ崎ボランティア
- 東ティモール支援プロジェクト

④ 留学生受け入れ・国際交流

⑤ コンテスト

上智大学との教育提携で教育理念に沿った教育提携プログラムを実施しています。

本校は教育理念を同じくする上智大学と2010年度より教育提携を結び「より大きいなるものを探し、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」の育成に力を合わせて取り組んでいます。この教育提携プログラムの内容は次のとおりです。

1 幅広い教養・グローバルコンピテンシーの育成

生徒は6年間、毎年上智大学の豊富な教授陣の指導と、大学との様々な企画の中で、グローバルな時代に生きる生徒に欠かすことのできない幅広い教養とグローバルコンピテンシーを身につけます。

出張授業『叡智の世界』(2019年度)

学部・学科	講師	対象	内容
外国語学部 ポルトガル語学科	子安 昭子 教授	中1	グローバル・コンピテンシー
総合人間科学部 看護学科	光武 智美 助授	中1	助産師が伝える命の授業
文学部 国文学科	長尾 直茂 教授	中2	漢字のカタチ
理工学部 情報理工学科	川端 亮 准教授	中2	世の中を支える情報システム
法学部 地球環境法学科	伊藤 栄寿 教授	中3	法の解釈を考えてみる
経済学部 経営学科	石井 昌宏 教授	中3	経営学を学ぶ前に
理工学部 物質生命理工学科	千葉 篤彦 教授	中3	体内時計
総合人間科学部 教育学科	相澤 真一 准教授	高1	あなたは誰? アイデンティティから考える総合人間科学入門
理工学部 機能創造理工学科	平野 哲文 教授	高1	超高温物理最前線
国際教養学部 国際教養学科	ヤコブ・ホジャステ 准教授	高2	Introduction to Operations Management
総合グローバル学部 総合グローバル学科	宮城 大蔵 教授	高2	国際政治(主権国家体系)の成立とその後
神学部 神学科	小山 英之 教授	高3	平和と他者に奉仕するリーダーとしてのMy Mission



上智大学サマー・ティーチング・プログラム(中3)

上智大学外国語学部英語学科の学生約20名が来校し、夏休み中の6日間、中学3年生に英語を指導します。少人数グループでの楽しいアクティビティーを通して英語でコミュニケーションをするおもしろさを学びます。



2 教育力の向上

英語カリキュラム共同開発

上智大学言語教育研究センター吉田研作教授の指導の下、2010年度より2020年度まで6カ年の英語カリキュラムを開発してまいりました。また年3回英語科研修を実施し英語指導法の向上を図っています。

授業力向上研修

総合人間科学部教育学科より奈須正裕教授、澤田 稔教授を招聘し、アクティブ・ラーニング技術など、全教員の授業力向上に取り組んでいます。

3 教育提携校特別推薦

教育提携校特別推薦として40名枠があります。

在校生からのメッセージ



充実した学校生活

内田 穂乃香さん

(高校3年生)

*2021年 在学時

上智福岡では、中学生の頃から基礎をしっかりとおさえつつ、大学受験を意識した授業を受けることができます。また、先生方が工夫をしながら授業をしてくださるので、楽しみながら勉強をすることができています。他にも、友達と教え合うことや、先生に質問をしに行きやすい環境があることなど、できない部分をすぐに解決することができます。様々な行事や出来事を通して、多くのことを学びました。一つ目は、オーストラリア語学研修で現地の先生による授業や、ホストファミリーとの生活、英語での買い物など、初めての経験をすることが出来ました。緊張しましたが、自分への自信にも繋がりました。二つ目は、体育祭に向けた活動を通して、協力し合うことの大切さや難しさ、自分の言葉や行動に責任を持つことの重みを感じることができました。上智福岡生となった皆さんが、自分のなりたい大人へと成長していくことを願っています。



将来のための学校生活

森田 雄太さん

(中学3年生)

*2021年 在学時

上智福岡の良い所は三つあります。一つ目は、先生方が授業や宿題の分からない問題に対して何度も丁寧に教えてくださるので、たとえ、その教科が苦手でも理解できるようになります。さらに、数学などでは、公式を理解するだけではなく、それを活用し、難しい問題を解くことができるようになるまで演習を重ねていきます。二つ目は、上智福岡に通学する時に電車やバスなどの交通機関が充実していて、遠方からも安心して通学することができることです。三つ目は、上智福岡は部活動も盛んであり、たくさんのイベントがあることです。昨年はコロナウィルスの影響で実施されませんでしたが、毎年行われる体育祭ではチームで団結することの大切さを学び、将来、社会に出て必要になってくることを学ぶことができます。このように上智福岡は良い所がたくさんあり、楽しい学校です。皆さんと上智福岡生としてお会いできるのを楽しみにしています。

人間性・国際性豊かな“世界への懸け橋”となるリーダーへ

海外異文化研修プログラム

他者とともにあって他者に奉仕し、世界への架け橋となるリーダーとなる。これは人々の救いを目指してスペインから1549年に来日し、日本文化に深い敬意を示しながらキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルの時代から一貫して変わらぬイエズス会学校の教育方針です。

本校には、他のどの学校にもないグローバルネットワークがあります。私たちの経営母体であるイエズス会には2万人のイエズス会員がおり、6大陸112の国々で働き、477校の中等教育学校と170校の大学を経営しています。本校はそのグローバルネットワークを通して、次のような異文化研修プログラムを実施しています。

オーストラリア海外語学研修（中3）



海外語学研修では、語学力はもちろんのこと、グローバルな世界観や国際感覚を磨き、国際的なコミュニケーションのとれる生きた英語を実際に使いながら身につけていきます。その国の生活や文化を肌で感じながら習得することができるのも大きな特徴です。

ISLFアジア太平洋イエズス会姉妹校リーダーシップフォーラム

“Ignatian Student Leadership Forum-Shaping Leaders in Asia-Pacific”

ISLFはアジア・太平洋地域のイエズス会学校の生徒が集い、共同生活をしながらイグナチオ的リーダーシップについて学び、実際に体験するプログラムです。また、その体験を振り返り、分かち合うことによって、体験したことに対する意味を見いだし、深めていくことで、自分の人生の糧とすることができます。2018年8月に日本（神奈川県秦野）で開催されました。



Voice

海外語学研修体験談

ホストファミリーとの思い出 [女子]

私は初めてのホームステイに、とても緊張していて、不安な気持ちのままステイ先に向かいました。

しかし、私のホストファミリーである Withanage 家の方々はとても優しく、いろいろな所に気を配ってくださいました。特に 17 歳のお姉さんと仲良くなつて、日本の事を英語で話せて嬉しかったです。お別れの時に、帰りたくないと言ってしまう程、良い思い出を作ることができ、いろんな人に感謝しています。

語学研修を終えて [男子]

「井の中の蛙大海を知らず」ということわざがあるが、自分はまさにそれだった。自分の知らない世界へ踏み込むのは大変勇気がいることだったが、やはり実際に経験してみると分からないことはたくさんあった。

その土地に住む人の人間性や文化、日本とは全く違っていたが素晴らしいものだった。今回の語学研修は英語の勉強やオーストラリアという国や風土について学んだだけではなく、自分にとって未知の世界に踏み込む勇気も学ばせてくれたとても良い経験になった。



着実に一步ずつ…

横山 瑛士さん

(66期生)

上智大学理工学部
機能創造理工学科卒業
東京工業大学大学院機械系へ進学

私は、66期生として上智福岡中学高等学校を卒業しました。卒業後は、上智大学理工学部に進学し、現在、東京工業大学修士課程で乱流燃焼に関する研究に取り組んでいます。

上智福岡での学生生活では、日頃の勉学だけではなく、部活動、などの行事を通して、日々努力することの大さや文武両道の精神など、研究者としての今の自分につながる基盤を築くことができました。この学生生活があったからこそ、ここまで成長することができ、今後も技術開発の観点から世界的に活躍できるよう精進していきます。最後に未来の上智福岡生へのメッセージとして、ここ上智福岡は、将来どの分野に進んでも対応できる力を身に付けることができる環境だと思います。勉学、部活等を通じて同世代の仲間たちと切磋琢磨しながら、一生に一度の中高生活思う存分楽しんで下さい。

(2019年3月 寄稿)



自分を見つけた
6年間

石川 佳奈さん

(69期生)

大阪大学外国語学部
インドネシア語専攻へ進学

在学中の六年間での学びは数え切れません。中でも、思索の時間や宗教の授業では、自分とは何か深く考える機会を与えていただきました。自分を見つめ、自分の長所や短所を知ることで、どのように他者のため行動し、何を実践すべきかを考えることが出来るようになりました。また自分の興味分野に気づくことができ、自分の行きたい活動や進路を決めることが出来ました。先生方は私の決断をサポートし卒業後も応援して下さいました。また、中学から 6 年間もの月日をともに学び、ともに成長した仲間は、大学生になった今でも素晴らしい友情を繋いでいます。

これから入学する未来の上智福岡生の皆さん、この素晴らしい学校で多くのことを吸収し、自分の目標を見つけ、卒業時に理想の自分になれることを願っています。

(2019年3月 寄稿)

カンボジア スタディツアー

20 年にわたる内戦によって荒れ果てたカンボジアは、先進各国の支援もあり社会状況はかなり整備されてきています。しかし、発展に伴い貧富の差は広がり、貧しい家庭は今も職が無く、教育も受けられない厳しい生活を強いられています。こうした困難な状況に置かれている人々に寄り添う活動の現場に立ち、with Others(他者と共に)の実践を学びます。





身近な所に未知の世界、他者の存在を知る。

私たちにとって他者は、海外に限ったことではありません。国内においても、私たちの知らない世界や、気づかずに過ごしてしまっていることが各々あるのです。そうした部分を知り、体感するためのプログラムです。

困っている人、悩みを抱えている人々の側に寄り添い、心をつなぐ体験を通して、他者の心の痛みのわかる人を育てます。

ボランティア報告（2019年）

大名町教会炊き出しボランティア（中2～高2）

毎年冬の時期に天神の大名町教会で行われる炊き出しボランティアに有志の生徒が参加しています。ホームレスの方々に準備したおにぎりやお味噌汁を配って、ささやかではありますが、寒い冬を越すための支援を行っています。

釜ヶ崎ボランティア（高1、高2）

大阪の釜ヶ崎での炊き出しボランティアや医療夜回りを通して、社会について考察します。従来、男子生徒を対象としてきましたが、女子生徒も参加できるようになりました。



東ティモール支援プロジェクト（全学年）

イエズス会は、2002年に独立した東ティモールに二つの新しい学校を設立しています。本校で教鞭をとられた浦善孝先生が派遣され、その協力の下、生徒会や有志を中心に募金活動や学習支援活動などを行なっています。



海外からの留学生や訪問交流生を積極的に受け入れることを通して、友好精神やおもてなしの心を学んでいきます。



AFS生受け入れ、姉妹校生受け入れ・交流（東ティモール、聖イグナチオ学院生女子2名、ネパール、ザビエル中男子2名女子3名ホームステイ、フィリピン、アテネオ・デ・ダバオ高生20名、アテネオ・デ・カガヤン高生20名、台湾、聖アロイジオ高生25名）
(2019年)



コンテスト Contests

校内暗唱・スピーチコンテストをはじめ、外部の様々なコンテストに積極的に参加し、発信力を育ててゆきます。



校内暗唱・スピーチコンテスト、福岡市中学生英語スピーチコンテスト、福岡県高校英語スピーチコンテスト、福岡県高校英語ディベート大会、上智大学ジョン・ニッセル杯、国際ユース作文コンテスト、毎日新聞青少年読書感想文全国コンクール、広島修道大学作文コンテスト、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト、読売新聞全国小・中学校作文コンクール、化学グランプリ、全国物理コンテスト、物理チャレンジ、日本生物オリンピック、生徒生物研究発表大会など

社会で活躍する先輩たち



信念を持って生きる
広松 悟さん
(64期生)

長崎大学医学部医学科卒業
嬉野医療センターで研修医を経て、
佐賀大学医学部附属病院
腎臓内科に医師として勤務

泰星(現上智福岡)を卒業後、長崎大学に進学し、その後医師となりました。嬉野医療センターで研修医を経て、佐賀大学腎臓内科に所属し、内科医としての道を目指し精進しております。64期は色々と難しい時期もあり、先生方には多大なご迷惑をおかけしましたが、先生方の辛抱強く優しいご指導の下、徐々に皆成長して行きました。自由な校風の中、多くの個性的な人の交流によって、私の許容範囲を広げてくれたと思います。どういった状況の中でも楽しみつつ、自分のやるべきを見つけて尽力して行くことの大切さも体感しました。上智福岡は、凄く恵まれた環境で成長出来る場であると思いませんので、皆様視野を広げ、遊び心をもちつつ自分の信念に従って生活して下さい。
(2021年3月 寄稿)



かけがえのないもの
松田 直さん
(52期生)

東京大学経済学部卒業
西南学院大学法科大学院
法務研究科卒業
弁護士法人ITS法律事務所に
弁護士として勤務

高校を卒業後、東京大学に進学し、その後弁護士となりました。訴訟の代理人や刑事弁護など、多忙な日々を送っています。振り返れば、泰星(現上智福岡)で過ごした中学、高校の6年間は、これまでの人生の中で最も楽しく、また最も充実した時期でした。そしてこの6年間は間違いなく、私のその後の人生の基盤となっています。どんな職業に就くにしても、人生は一生勉強です。そして、そのための思考力や忍耐力、継続力などは、この最も多感な6年間に培われ、その後の人生を左右するのです。泰星の自由な校風、先生方、そして多くのかけがえのない友達が、私の人生の基盤を培ってくれたと思います。時々母校を訪れると、懐かしい先生方が出迎えてくれて、まるで高校生に戻ったような感覚にさせてくれますが、それこそがこの学校の小規模ながら密度の濃い校風を表していると感じます。
(2016年12月 寄稿)

Men and Women for Others, with Others



思索(しさく)の時間

昼休み後の15分間は「思索」の時間。充実した昼休みを過ごした後、気持ちを新たに午後の授業に臨むための静かなひとときを意識的に過ごす時間です。聖書の言葉や社会的なテーマを聞きながら、これまでの行動を振り返り、思索し、心を整理していきます。

立腰(りつよう)黙想

本校では授業や各行事の始まりと終わりに、立腰黙想を励行し、気持ちの切り替えを行っています。立腰黙想本来の意義は、「精神の安定」と「己の自覚」にあります。

「立腰」は、その漢字から分かるように「腰骨を立てる」ことであり、人間の正しい姿勢を保つために必要なことです。本来あるべき姿勢に戻れると、集中力や持続力がつき、心が安定し心身ともに落ち着き、やる気が湧いてくるうえに、内臓が圧迫されることがなくなり健康になります。

正しい立腰黙想の姿勢で目を閉じ、静かに自分の内面に入り込んでいきます。そして神様と対話し、自己を見つめる、これが「黙想」という行為です。立腰の時に、日常では感じられない体の様子(例えば息をする時に感じる感覚など)を観察する練習をすると、どんなに喧噪の中にあっても自分自身を客観的に見つめることができます。聖書に「目を覚ましていなさい」という言葉があります。立腰黙想で体や心の状態を『理解』することは、この『目を覚ます(自覚)』ことでもあるのです。

私たちの毎日は多忙を極め、頭の中で多くのことを片付け、常に精神的、肉体的疲労感に苛まれています。立腰黙想はそうした私たちの心と頭を落ち着けるものです。

多忙な中高の時期に「心と頭と体」をコントロールする立腰黙想は、思慮深い大人になるための第一歩なのです。



学校日課表(火・水・木)

HR	8:25~8:35
1校時	8:35~9:25
2校時	9:35~10:25
3校時	10:35~11:25
4校時	11:35~12:25
昼休み	12:25~13:10
思索の時間	13:10~13:25
5校時	13:30~14:20
6校時	14:30~15:20
HR 清掃	15:20~15:45

*月・金は7校時(15:30~16:20)を行い、HR・清掃(16:20~16:45)となります。

学校日課表(土)

HR	8:25~8:35
1校時	8:35~9:25
2校時	9:35~10:25
3校時	10:35~11:25
4校時	11:35~12:25
HR 清掃	12:25~12:50



上智福岡の一日
Our Daily Schedule

上智福岡の1日はすべてが黙想に始まり黙想に終わります。目を閉じ、心静かに次の行動を考えます。



カリキュラムと連動した様々な学校行事を行っています。

<p>[中学1~3年]</p> <p>遠足 新学期、新しいクラスになって最初の学校行事。友だちとの親睦を深めます。</p> 	<p>[中学2年]</p> <p>サマーキャンプ 仲間との共同生活を通して、クラスや学年の結束を図ります。</p> 	<p>[中学1年~高校2年]</p> <p>キャリアディ 本校では後援会の協力を得て、生徒の保護者が教壇に立ち出前授業を行います。仕事のこと、社会人としてのアドバイスなど色々な話が聞けます。</p> 	<p>[全学年]</p> <p>クリスマス式典 キリストの誕生を祝うと共に、喜びを分かち合うべき他者へと心を寄せる。本当のクリスマスの心を考える日です。</p> 	<p>[中学3年]</p> <p>武道大会 礼に始まり、礼に終わる。柔道、剣道の授業の成果を披露すると共に日本の良き伝統を身に付けます。</p> 
---	---	---	--	--

1学期				2学期				3学期			
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
April	May	June	July	August	September	October	November	December	January	February	March
											
●中学入学式 ●中1オリエンテーション合宿 ●遠足	●○中間考査 ○高2修学旅行 ●○期末考査	●○体育祭 ○高2修学旅行 ●○期末考査	●サマーキャンプ ○カンボジアスタディツア ●上智大学 サマー・ティーチング・ プログラム ●○オープンスクール ○アジア太平洋イエスス会 姉妹校リーダーシップ フォーラム	●○キャリアディ ●○中間考査 ●○文化祭	●○中間考査 ●○創立記念式典 ●○芸術鑑賞 ●○駅伝・持久走大会 ●○期末考査	●○クリスマス式典	●○中3海外語学研修 ●○高3卒業ミサ	●○中3海外語学研修 ●○高3卒業ミサ	●○予餞会 ●○学年末考査	●○武道大会 ●○予餞会	●○高校卒業式 ●○中学修了式

●中学校行事 ○高等学校行事 *諸事情により行事時期が変更になる場合があります。

<p>[高校2年]</p> <p>修学旅行 グローバル社会である現代だからこそ、自国のアイデンティティを再認識し、深めていくことを目的にして関西を訪れます。</p> 	<p>[全学年]</p> <p>体育祭 日頃鍛えた力と技、そして楽しいパフォーマンスで盛り上がるスポーツイベントです。</p> 	<p>[全学年]</p> <p>文化祭 年に一度のカルチャー・フェスティバル。文化の香り漂う上智福岡の秋祭りです。</p> 	<p>[全学年]</p> <p>駅伝・持久走大会 クラスでたすきをつなぐ毎年恒例のレースです。</p> 	<p>[全学年]</p> <p>予餞会 本校で6年間を過ごし卒業してゆく高校3年生、在校生が心を込めて餞けを贈ります。</p> 
--	---	---	---	---



クラブ活動は、
運動部から文化部まで
自分に合った部活を
選べます。



[運動部]



硬式テニス部



剣道部



バドミントン部



卓球部



柔道部



ハンドボール部



サッカー部



軟式野球部



バスケットボール部

東中学校のみ四一チーム男女混合

Club Activities

クラブ活動は週3回となっており、集中して効率よく行われ
日々の学習との両立が可能となっています。

[文化部]



写真部



ESS部



美術部



吹奏楽部



物理部

生物・化学部



クラフト部



クラフト部



茶道部



将棋部

- 男子
- 女子
- 男女混合

Our Campus



A イングリッシュルーム



B 図書館



D 理科階段教室



C 自習室



E ザビエルホール



F 中庭



G 和室



H 音楽室



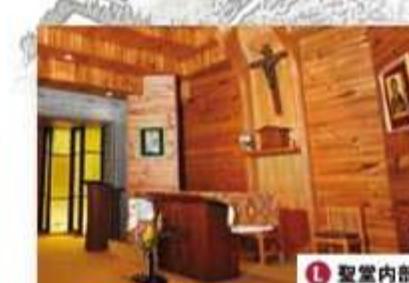
I 売店



J 生徒会室



K カフェテリア



L 聖堂内部



N 家庭科実習室



M 聖書研究室



P クラブハウス



Q 美術室



O 体育館



入試情報

◆日程 入学試験日 2022年1月11日(火)
合格発表日 2022年1月13日(木)

◆募集人数(帰国来日児童入試を含む) 第1学年160名(男子80名、女子80名)

◆過去3年間の中學入試結果

一般入試						
入試年度	志願者数		受験者数		合格者数	
2019	831	男子	481	809	男子	466
		女子	350		女子	343
2020	838	男子	447	821	男子	436
		女子	391		女子	385
2021	754	男子	398	748	男子	394
		女子	356		女子	354

帰国来日児童入試						
入試年度	志願者数		受験者数		合格者数	
2019	10	男子	7	10	男子	7
		女子	3		女子	3
2020	6	男子	1	5	男子	1
		女子	5		女子	4
2021	8	男子	4	8	男子	4
		女子	4		女子	4

※理科・社会のかわりに英語の試験を課す。国・算・英の300点満点

◆採点結果(2021年度)

教科	配点	時間(分)	平均点	最高点	合格最高点	合格最低点
国語	100	60	70.0	97		
算数	100	60	56.9	100		
社会	50	40	29.1	48		
理科	50	40	30.5	49		
総合	300		186.4		275	172

校納金

(1)一時金
(2021年度)

入学申込金	60,000円
施設拡充費	200,000円

合計：260,000円

(2)月額分

授業料	26,000円	授業料	36,000円
教育充実費	10,000円	教育充実費	0円
後援会費	3,500円	後援会費	3,500円
校友会費	400円	校友会費	400円

※月額：39,900円

中学

高校

(3)年額分(中学1年時)

①オリエンテーション合宿費	約28,000円
②諸経費預かり金(各種入会金、教材費、行事参加費等)	約92,000円

(4)その他

①学用品、制服、体操服、靴、カバン、ICT端末等(いずれも学校指定)	約160,000円
②中学2・3年次に語学研修旅行積立金	月額15,000円(総額300,000円を予定)
③高校進学時には一時金として施設拡充費170,000円(予定額)が必要です。	

Basic style

濃紺のブレザーとグレーのパンツ&スカートは時代に左右されない

オーソドックスな落ち着きと美しさを備えています。



ハイソックスのワンポイント
女子のハイソックスにはLV(Lux Veritatis)のマークが刺繡されています。

制服について

「Men and Women for Others, with Others(他者とともに)」と「豊かな国際性」を謳う本校生の制服は、周囲を気遣う優しさと気品を備え、どこへ出ても恥ずかしくない風格と品位を感じさせるものでなければなりません。本校の制服としては、流行に左右されず、いつの時代にも高く評価されるものでありたいと考え、世界的に認知されたトラディショナルスタイルのブランドである「J. PRESS Campus Model」を採用いたしました。



T.P.O.に合わせて選べる SOPHIA FUKUOKA 制服アイテム





Q & A

よくお寄せいただくご質問をまとめています。
不明な点や不安な点は学校までお問い合わせください。

Q1 入学前に英語に関して準備が必要ですか？

A 特に必要ありません。
6年間かけて4技能をバランスよく育てるプログラムにより、初歩からじっくりと指導していきます。

Q2 学習と部活の両立は可能ですか？

A 部活は週3日となっておりますので、部活がない日の放課後は学習に集中して取り組めます。

Q3 長期休暇中の補習授業は行っていますか？

A 中学生は学習面で遅れが目立つ生徒を対象とした補習を行っています。
中学生全員を対象とした補習は行っていません。高校生は全員対象の補習を行っています。

Q4 どのくらいの生徒が部活動に参加していますか？

A 部活動は任意参加ですが、8~9割の生徒が参加しています。

Q5 自転車通学は許可していますか？

A 安全面から、中学生には許可していません。高校生から許可しています。

Q6 昼食はどうしますか？

A 中学生は弁当を持参するか、食堂で弁当やパンを購入することもできます。
高校生から食堂を利用できます。

Q7 寝ありますか？

A 中学・高校とも寮はありません。原則自宅からの通学となります。

